

GGつうしん 賀新年 1月号 Vol.57

環境美化推進員研修会を開催しました！！

浜松市では、地域の環境リーダーである環境美化推進員の皆様の活動に役立てていただくため、昨年の10月19日（水）と11月10日（木）に、環境美化推進員研修会を西部清掃工場で開催しました。今回はその模様をお伝えします！

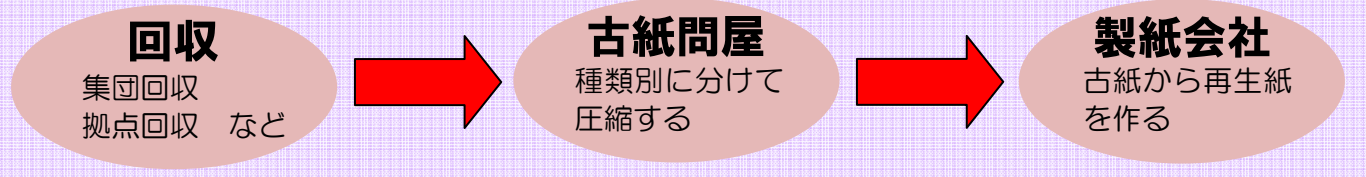
『研修会日程』
①講義 「古紙のリサイクルについて」
②施設見学 「西部清掃工場」

☆古紙のリサイクルについて☆

（講師協力：株式会社 岩田商店）
古紙のリサイクルの歴史や流れ、雑がみを中心とした古紙の分別方法などについてご講義いただきました。ここでは、講義の内容をピックアップしてご紹介します！



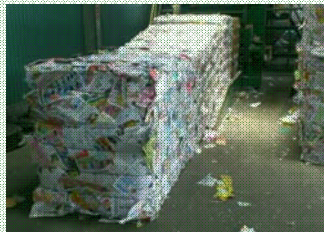
◆ 古紙のリサイクルの流れ



◀ 古紙問屋の様子 ▶



搬入されたバラの状態の古紙



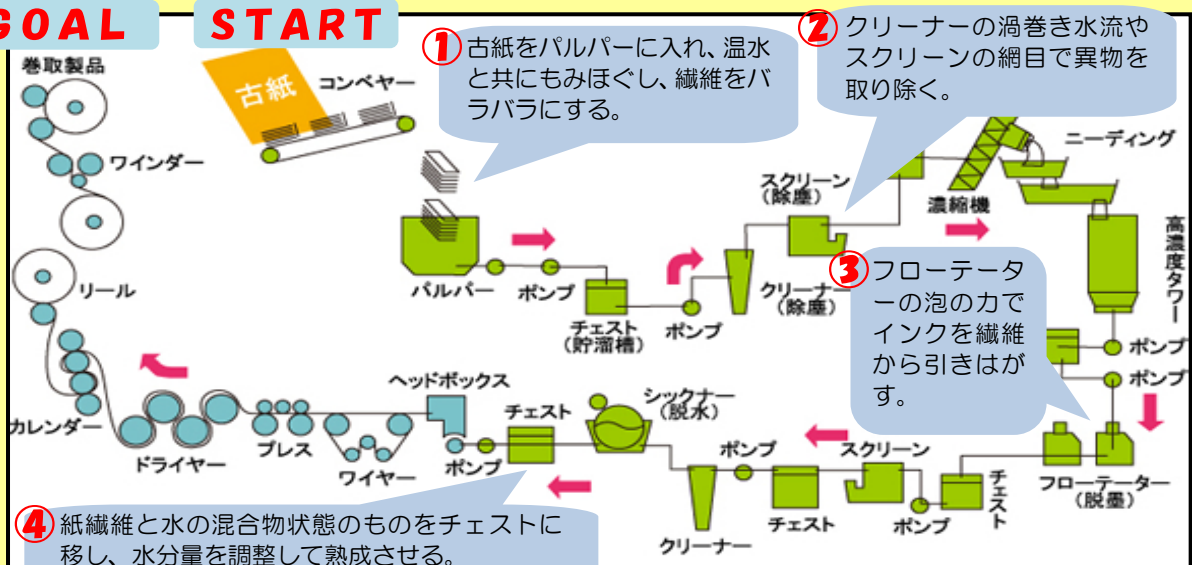
圧縮梱包された古紙



運送車両に積載 製紙会社へ

◆ 製紙会社での古紙処理工程（※ 製造するものや製紙会社の設備によって工程は異なります。）

GOAL START



◆ 「雑がみ」について

古紙の中には、新聞・雑誌・段ボール・紙パック以外にも資源としてリサイクルできる紙が多くあり、それらをまとめて「雑がみ」と呼んでいます。浜松市の家庭から出るもえるごみの中の約4割を占めている紙類の減量のため、雑がみの資源化が注目されています。

《主な雑がみ》



※ 金属やビニールなど、紙以外の部分は取り外してください。
 ※ 汚れているものやにおいのついた紙は「もえるごみ」へ出してください。

研修会アンケート結果



《講義の感想》



古紙がどのようにリサイクルされているか理解できた。家庭の紙処理について考えさせられる講義だった。

- 古紙の種類や分別の理解が深まった。
- 古紙に出せないものについて、なぜ出してはいけないのかという理由を明瞭に教えてもらい参考になった。

《施設見学の感想》



- 改めてごみが多いのがわかった。雑がみを資源物としてしっかり出すようにしたい。
- 環境負荷を抑えた最先端の工場であることがよくわかった。
- 安心して浜松市にごみ処理をお願いできると思った。



■平成28年11月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ 10,967トン (前年同月比 **△123トン**)

平成28年4月からの1人1日当たり平均 482グラム **新目標435グラム!**

■家庭系もえるごみ月別推移

(単位:トン)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
28年度	11,606	12,843	11,425	11,742	12,185	11,486	11,433	10,967	93,687
27年度	11,982	12,058	12,555	12,273	11,505	11,760	11,607	11,090	94,830
前年度比	△376	785	△1,130	△531	680	△274	△174	△123	△1,143

3ヶ月連続で昨年度よりもごみの減量に成功したのじゃ!!引き続きご協力ください!!





仙台市のごみ減量の取組を紹介します！！

廃棄物・リサイクルで先進的な取組をしている6市を視察することでごみ減量施策の情報を収集し、本市の新たなごみ減量・リサイクルの取組立案に活かすことを目的として先進市視察を実施しました。先月号に引き続き、今回は**仙台市**の取組をご報告します。

仙台市の葛岡リサイクルプラザについて

リサイクルプラザとは、不要になった家具や衣類、本、おもちゃなどの持ち込みを受け付け、希望者に提供するほか、リサイクル教室の開催等、ごみ減量・リサイクルについての情報を提供する施設です。

各種リサイクル品を展示しているコーナーでは、電子ピアノなどもあり市民にも盛況でした。同じジャンルのものを集めて「**学習机フェア**」や「**ベビー用品フェア**」を開催する等、ニーズに応えるよう提供方法を工夫しているそうです。



《展示コーナー、展示品の様子》

仙台市の個性あふれる自動車について

仙台市環境局では、ごみ減量を啓発する独自のキャラクターである「**ワケルくん**」が大きくペイントされたラッピングバスを所有しています。運転手付きで市民が施設見学等のときに予約することにより利用でき、走る広告塔としての役目も担っております。

また、食器洗浄機搭載車も所有しており、地域のお祭り等の飲食を伴う行事のときにリユース食器と併せて貸し出しを行っています。使い捨て容器を使用しないためごみを減らすことに役立ちますが、利用者が直接運転しなければいけないところがネックとのことでした。



《ワケルバス》



《ワケルモービル》

集団資源回収制度について

What is 集団資源回収？

家庭から出る古紙類、古布類、びんなどの資源物を、町内会やPTAなど地域団体が協力して集める活動のことです。

浜松市では**資源物集団回収**と呼んでおり、登録団体が集めた資源物は、回収業者に売却して団体の活動資金となっています。また、市に回収実績を報告していただくことで、市から団体へ協力金（奨励金）を交付しています。仙台市では**回収実施回数**と**回収の方法**に応じて協力金を交付しています。

仙台市 ➡	月1回の実施・・・1,000円	×実施回数	+	戸別回収・・・4.0円	×回収量（kg）
	月2回以上の実施・・・2,000円			ステーション回収・・・3.5円	

浜松市 ➡	5.5円（古着類については7円）×回収量（kg・本）
--------------	----------------------------

仙台市では、回収実施団体と回収業者それぞれに年1回**説明会を実施**したり、「**集団資源回収NEWS**」を提供し、取り組みやすい環境づくりに努めています。傾向としては、資源物の回収量については減ってきているものの、マンション等での申請が増え実施回数は伸びてきているとのことです。

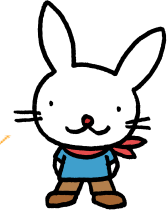


平成27年度の減量・資源化・適正処理計画書の集計結果について報告します！

本市では、浜松市廃棄物の減量及び資源化並びに適正処理等に関する条例に基づき、大規模建築物所有事業者の皆様へ減量・資源化・適正処理計画書（以後「減量等計画書」と省略）を提出いただいております。平成27年度の対象事業者数は342件あり、そのうち88.9%（304件）の事業者から減量等計画書を提出いただきました。今回は平成27年度の減量等計画書の集計結果をご報告します。

What is 大規模建築物？

- ・事業所、店舗、ホテルなどの用途で床面積が3000㎡以上の建物
 - ・大規模小売店舗で店舗に使用される部分の面積が1000㎡を超える店舗
- 上記のどちらかを満たした建築物を、条例で**大規模建築物**と定めています。



平成27年度の浜松市全体の一般廃棄物の処理量のうち、事業系一般廃棄物は**33.4%**を占めています。その中で、事業系一般廃棄物全体の発生量は688.4t減少し、資源化量は626.7t増加、資源化率も3.3%増加しました（下表）。

	27年度(A)	26年度(B)	増減(A-B)
発生量	29,342.9 t	30,031.3 t	△688.4 t
資源化量	16,410.3 t	15,783.6 t	626.7 t
資源化率	55.9 %	52.6 %	3.3 %

ポイント①



事業系一般廃棄物全体の発生割合の中で約50%を占める紙類全体の資源化率は92.1%と高いリサイクル率ですが、**OA用紙**と**雑がみ**は資源化率が44.5%と66.4%と他の品目と比べて低い状態です。**ごみ減量のため、OA用紙と雑がみの資源化にご協力ください。**（図1・図2参照）

ポイント②



生ごみは発生割合の約20%を占めています。生ごみは水切りすることで発生量の減少が見込めるため、**水切りにご協力ください。**（図1参照）

図1 品目別発生割合

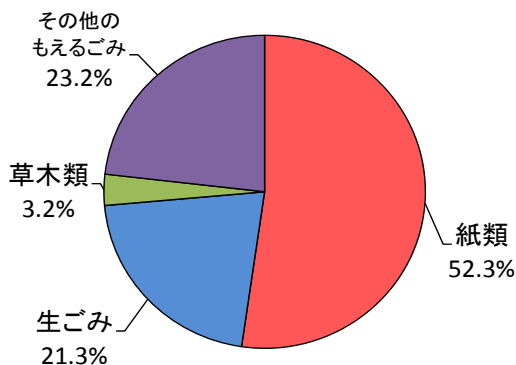
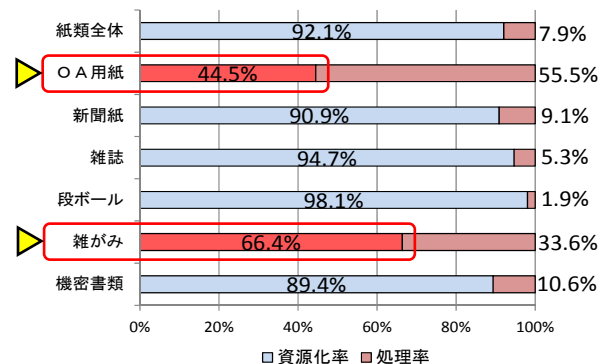


図2 紙類の品目別資源化率



☆集計結果の詳細は浜松市ホームページに掲載しています。浜松市ホームページ (<http://www.city.hamamatsu.shiuoka.jp/>) から、「大規模建築物所有事業者」や「減量・資源化・適正処理計画書」のキーワードで検索してください。